

同窓会だより

●発行
千葉県立船橋高等学校同窓会
 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1
 ホームページ <http://homepage2.nifty.com/funaobog/>
 E-mail funafuna55@nifty.com

●印刷 (株)サラト
 姫路市北条宮の町172番地
 TEL079-284-1380

題字／小原天籟先生



創立九十周年記念行事報告

校歌碑建立と記念演奏・式典講演(五月十二日)

●サトウハチロー直筆校歌碑建立

今年現校歌が一九五二年に制定されてからちょうど六十年目にあたります。サトウハチロー先生の直筆の校歌原稿が本校に在職していた寺門和郎先生の御遺族から船高に届けられたのは数年前のことでした。創立九十周年を記念して同窓会役員会が建立を提案したのが一昨年の春、それを受けて記念事業実行委員会が事業として決定したのは昨年の夏のことです。音楽著作権協会での承認手続きと同時に御子息であるサトウハチロー記念館館長佐藤四郎さんに連絡したところ「親父の字は強い癖があるけれどもそれぞれよかったらどうぞ」ということでした。その時、船橋はハチロー氏にとっても四郎さんにとっても想い出のある土地だという話もしてくれました。昨年の秋のことです。施工をお願いした「いしども」さんに原稿のコピーを出したのが十一月、施工関係の手續きが済んだのが年明けの一月、また、「念のため」ということで、佐藤四郎さんにサトウハチロー直筆の「確認」をしていただいたのは、震災の後、年度が改まってからでした。この時にも「弟子に代筆させたものも多かった」ので父の真筆に巡り会ったのは本当に久しぶりで、船橋は実に縁のあるところだ」と喜んでくださいました。除幕式は式典がある日の午前中に、ということ、記念事業実行委員会の役員を中心に挙行いたしました。これについては何社かの新聞の千葉版やNHKの夕方のニュースを御覧になった方もいらっしゃると思います。校歌碑は、正門を入って玄関に行く途中の植え込みのすぐわかる場所に建立されており、深い筆跡を御

覧になってください。なお、全体の企画・意匠は同窓生で船高美術講師の若見優貴先生によるもので、建立日の揮毫は同じく書道科の伊場英白先生によるものです。



●創立九十周年記念式典・記念講演

五月十二日(木)習志野文化ホールにおいて創立九十周年記念式典が挙行されました。この会場は先の震災で損傷し、修復後の最初のイベントが本記念式典となりました。式典の前に記念演奏が行われました。最初に合唱部が「花」(Flower)、「Guayabosa」など四曲を、次にオーケストラ部が「威風堂々第一番」を、最後に合唱部・オーケストラ部と一・二年音楽選択者による「ハレルヤ」を披露し、すばらしい演奏で会場に彩りを添えました。

記念式典には千葉県教育委員会を代表して渡邊清秋様、船橋市からは同窓生の藤代孝七市長と石毛成昌教育長、千葉県議会より同窓生の服部友則議員、千葉県高等学校校長協会長宮崎仁志先生以下二十三校の校長先生・歴代校長である三橋衛先生・風間勝也先生・柴喜光夫先生らを来賓として御臨席賜り、旧職員や地域の方々へ全日制・定時制PTA役員理事、同窓会からは役員・この度の事業に御協力いただいた会員一四一名の方々をお招きして全日制・定時制の在校生一、四〇名と現職員を併せ、習志野文化ホールがほぼ満員に近くなる一、四二〇名がこの式典に臨みました。また、野田佳彦財務大臣(当時)からは祝電を頂戴いたしました。各方面からお褒めの言葉をいただいた校歌斉唱の後、森村隆二校長がまずまずの船高の発展を誓うべく式辞を述べ、金子安雄実行委員長からは「震災からの復興と日本の将来を担うのは君たち現役船高生の使命だ」というメッセージが発せられ、続いて各御来賓の皆様から温かい励ましとお祝いのお言葉をいただき、校歌碑目録贈呈の後、新宮領一紀生徒会長の挨拶を最後に式典を閉じました。

記念講演は八十周年の時の江川紹子氏に引き続き、本校を昭和四十二年に卒業した千石正一先生にお願いいたしました。「動物奇想天外」などでもおなじみの「千石先生」の講演のテーマは「詰め込みと廿世紀。後半には在校生からの「船高なごっけ」の様々な質問に、ユーモアを交えながら、とても鋭く応じていただきました。

大震災があつて一時は式典の延期や中止も取り沙汰された中で、予定どおり校章の「橘」の花咲く季節に、古歌にある「昔の人を思い出す」という橘にちなむ多くの人々を迎え、全日制・定時制すべての在校生と職員がひとつのところに集まるといふ幸せをしみじみと感じた一日となりました。

創立九十周年事業実行委員会事務局
山田敬明(49年卒)

新たな10年に向けて



同窓会会長
金子安雄
(昭和34年卒)

平成23年の総会で引続き会長を仰せつかりました。平成20年からの3年間は母校創立90周年記念事業遂行を目的に走って参りましたが、今季は新たな10年の礎となり次代にバトンを引継ぐことを使命として、誠心誠意会務に励んでまいりますので、重ねてのご理解と協力をお願い申し上げます。

まずは、紙面をお借りし、3月11日の大震災でお亡くなりになった方のご冥福と被災された方へのお見舞いを申し上げます。再建への槌音が日増しに大きくなってはおりますが道半ば、一刻も早い復興を願うものです。

さて、母校創立90周年記念事業に同窓生の皆さんから多くの熱き思いを賜り、寄付金も目標に達することができました。ご案内のとおり5月12日には記念式典が挙行され、サトウハチロー先生直筆の歌碑の除幕も行いました。皆さんのご支援とご協力に感謝申し上げます。

式典や記念事業等々本紙面にてご報告させていただきますが、記念講演で同窓の千石先生の後輩在校生へ力強いメッセージが伝えられ、それを受取る生徒の真摯で直向きな姿勢に清々しい感動を覚え、母校への思いを新たにいたしました。この行事を通して母校が新たな10年へのスタートを切ったことを確信いたしました。

また、時を同じく、同窓の野田総理大臣が誕生したことは、新たな10年への門出に相応しい慶事と申せましょう。数多の人材を輩出している船高の歴史に新たなページ

が記されました。

日本は将に困難ともいう時代を迎えておりますが、日本の輝ける未来を信じ、野田総理に、各界で活躍される会員各位に、そして、新たな歴史を刻み始めた千葉県立船橋高等学校と母校に学ぶ生徒に更なる精進と飛躍をご祈念申し上げます。

校長挨拶



校長
森村隆二

同窓の皆様には、日ごろより本校の教育に対し格別のご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

創立90周年に際しまして、多くの方々にご協力いただき、平成23年5月12日に、習志野文化ホールにて記念式典を厳粛に挙行し、8月7日には野田財務大臣(現首相)ご臨席のもと盛大に祝賀会を開催いたしました。また、多くの方々からお寄せいただいた募金のお陰で、施設設備の充実を図ることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

本校では、次年度以降の大きな変革として、学習指導要領の改訂にあわせ、教育課程の抜本的な見直しとして、1・2年生の授業時間を週32時間から週34時間に増やします。「ゆとり教育」から脱却し、「日本のリーダーの育成」を目標に生徒の知的好奇心を高め、一人ひとりが進路希望を達成し、自己実現ができる魅力ある進学校として新たな教育活動を展開して参ります。

今後も教育環境の整備を推進し、生徒が安全で快適な学校生活を過ごすことができ、ように努力いたします。どうか「船高」

が意欲的に教育活動に邁進できますよう、同窓の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

着任のご挨拶



教頭
久門 宏

3月11日の東日本大震災の余波も収まらないなか、4月1日、この伝統ある県立船橋高等学校に赴任いたしました。正に日本全体がその先行きに大きな不安を感じている中、勉学に、部活動にと一途にその青春のエネルギーをほとばしらせている生徒達の姿を目の前にし、大きな勇気とともに将来への夢へ向かう若人の力を感じました。

また、5月には、創立90周年記念式典が挙行され、その節目に着任できたことも大変光栄な巡り合わせであると感じております。

文武両道を掲げる校風は、毎年、難関を突破して入学してくる生徒達に、その伝統というゆりかごの中、熱と意気を与え、たくましく成長させる力でもあります。千葉県初の首相となった野田総理には、同窓会総会の折り、就任直前に席を同じくすることができました。力強く語る中に決して奢ることのない「謙虚」な響きを感じ取ることもできました。正に、校歌にあるように「礼節知徳」を培い、胸には誠と信義の若葉を育んだ故のお人柄であると感じています。このようすばらしい校風・伝統を守りつつ、今後も社会に有為な人づくりを目指して、教頭として微力ながら力を尽くしていきたいと思っております。同窓会の皆様には、ますますのご支援をお願いいたします。

平成二十四年

『春の同窓会』

ご案内

実行委員長

三村 達 (昭和45年卒)

平成24年春の同窓会の実行委員長を務めます昭和45年卒業の三村達と申します。

県立船橋高校も、昨年度創立90周年を迎え、その歴史にまた一つの節目を迎えることができました。また、今年、昭和51年卒の野田佳彦さんが民主

党代表に就任され、県立船橋高校から初の総理大臣が誕生いたしましたことは、この上ない喜びであります。

また本校は、平成21年度から文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SHS)に指定され先進的理数教育に取り組んでいると同時に、後輩である現役の生徒諸氏も、今年度国際生物学オリンピックで金メダルを受賞する等、目覚ましい活躍をしております。

皆様方におかれましては、日々、お忙しいこととは思いますが、平成24年2月11日(土)のひと時を、西船橋のフローラ西船にお集まりいただき、これまでの人生を振り返ると同時に青春時代に立ち返り、高校の同期、先輩、後輩たちとともに思い出話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか？
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

船高の歴史(一七)

『昭和十九年度 職員会議録』にみる生徒指導

小川 信雄 (元県立千葉高校教諭、一九六三年卒)

一九四四(昭和十九)年は船橋中学校が船橋市立から千葉県立に変わった年度である。敗戦直後に「戦争責任」を明らかにして軍国主義教員を追放することを目的とした「教員資格適性審査」への対応や、最近では個人情報保護法への対応を口実に、本校船橋中学校・高校の記録・資料の廃棄がおこなわれた。これらの「過去の抹殺はそれぞれの時代々々における「事なかれ主義」的な、記録・資料への態度のあらわれで、当時の無責任・無能力な学校長・教頭など管理職などの指示によるものと思われる。船橋高校は創立百周年にもなるうとしているにも関わらず、その歴史を詳しく調べられる記録・資料は残念なことにもう存在していない(ちなみに私が退職前に教員生活をおくった県立千葉高校では、同校一二五周年記念事業のひとつとして、同窓会長霜礼次郎氏と校長大野敏三氏の見識ある措置によって、それまで整理・保存が不十分であった一八七八(明治十一)年の千葉中学校創立以来の記録・資料を「千葉県立千葉高等学校資料目録」(二〇〇五年三月)として刊行された。これは所蔵されていた江戸時代・明治期の漢籍・和書また創立以前の文書や、「校友会雑誌」などをはじめ、最近まで保存されていた資料・記録を整理し、目録冊子としたものである。

この資料・記録は近現代日本における中等学校の教育記録・資料として貴重かつ希有なもので、文化財とよぶにふさわしいものである。おそらく「校友会雑誌」(校友会とは戦前の生徒会にあたる組織)がほぼ完全に残されている旧制中学校とは千葉高ぐらゐと思われ。もとより本校と千葉高校とはその歴史の長さや存在は比較できないものではあるが、記録・資料が保存されていないことは、様々な事情を考慮しても誠に残念なことである。

今回、取り上げる『昭和十九年度 職員会議録 千葉県立船橋中学校』(千葉県立文書館所蔵)は戦前期の船橋中学校について遺された数少ない資料のひとつで、B5判で市立船橋中学校名が印刷された縦書きの紙に書かれた同年度の職員会議の記録である。当時の生徒の教養や生活指導はどのようなものであったかを一部の原文を紹介しよう。

「四月一日(土)曇(中略)学校長は、一、希望ヲ述ベテ置ク(反省シテミテ) 1 率先垂範 2 親切 外来者ニ対シテモヤウラカニスル。生徒ヲ叱ツテモ愛トイフコトヲ忘レヌ様ニ、生徒ヲ生カシ養フセヨ様ニスル(中略) 6 教務ノ徹底 組主任ニ対シテハコトヲ希望スル家庭訪問。父母ノ召喚等ハ交通ノ不便カラナカ

カムスカシクナツタ故ニ電話或ハ手紙ヲモ結構デアルカラ家庭父兄トヨク連絡トルルヤウ。(中略) 一、礼ノ徹底ヲ期セシムルコト。二、生徒ハ下級生ニハ敬語ナクシテ可、同級ニ対シテハ君ヲツケテモツケナクテモ可、上級ニ対シテハさん付トス。

戦争の激化によって保護者との連絡が難しくなっている状況がうかがわれる。また下級生の名前を「呼び捨て」でよいとするなどは教員は生徒を呼び捨てで当然とする意識がうかがえる。なお当時、中学校の生徒の教員への挨拶は軍隊式の敬礼が一般的であった。

四月十日(月)「生徒ノ国防能力増大」(知育ノ徹底)「時局教育」では「物品愛護ノ精神」「時局ノ講演」「食料増産」を徹底することを目的とされている。また「陸海軍、幼年学校(への進路指導)」も決められ、戦時教育をいっそう強化しようとしている。

五月二十三日(火)の会議では「防空訓練ノ充実」を図るために生徒に「防空演習」の訓練をおこなうことや「中等学校銃剣道及射撃指導生徒訓練実施」も決められている。

六月二十六日(月)の会議で学校長は「一、電車汽車内ニ於ケル生徒ノ礼儀ニ関スル件(東京師団兵務部長通牒)他校ノ生徒タルト否ヲ問ハズ学校職員ハ注意ヲ与フベシ」と通達した。また会議では「勤務奉仕ニ関スル件(千葉工作所)」に関する勤務条件などを決定しているが「一、勤労奉仕ノ精神 2 作業場ヲシテ一ノ層明瞭ナラシム 4 ナルベク多数ノ職員ガ出勤、生徒ヲ訓育ス 5 受入側ノ協力ヲ得テ教育練成ノ徹底ヲハカル 6 保健衛生、救護等ニ就テハ受入側協力災害ヲ防グベシ 7 作業ハ十二時間ヲ超ヘルコトヲ得ス」などとしている。教員側は勤労働員として学校教育は事実上、解体しているという認識はみられない。

七月十五日(土)職員会食(中略)教務主任(の司会により) 1「修練(授業などは含まれない作業ないし運動や労働を指す) 採点ノ標準ニ関スル件 一、二年 体練修練(軍事的な体育のこと、作業修練(食料増産の農作業などのこと)、平時修練(一般的な修練で軍事演習や行軍などの訓練を指すと思われる)三者綜合ノ上決定スル 三、四年 従来通りノ査定簿ニヨル 2「修練一査定ノ段階 秀、優、良上、良、可、不可(六段階)」と決められた。

第一学期終了の「七月二十三日(土)職員会議(成績会議)」では「教務主任(は) 1予科練出願者三十五名 2映画「轟法」見学(を) 二十四日(月)二行フ」と報告をしている。

七月三十一日(月)の職員会議で学校長は「生徒ノ欠点ニ付テ反省スベキ点 イ、学問的熱意ガ不足シテ

イル ロ、自主的ノ気分ニ乏シイ ハ、善事ヲスヌメ悪事ヲ戒メ合フコトガ少イ ニ、積極性ナク持久力ナシ」と生徒を評価・批判した。

しかしこの発言は勤労働員による労働で健康を害して動員を欠席する生徒が増加していることや教室における知育の中心である授業がおこなわれなくなっている状況をまったく認識していない。船橋中学校の教育に最も責任のある学校長の発言としては「時流」や「軍国主義的雰囲気」などに呑み込まれてしまったといえる。誠に無責任きわまりないものであったといわざるを得ない。

したがって「(一)学期) 八月三十一日(月)職員会議では) 学校長(は教員に訓示して) 1必勝ノ意気込テ第二学期ヲ迎ベシ 2第二学期ヲ迎フルニ当リ左ノ二項ヲ要望ス 即時処理ノ何事モ即時ニ処理ヲナシ一日ノ仕事ヲ其ノ日ノ中ニ為ス 出席簿ノ記入ノ如キ、学校長ノ方針ニ万事帰一統合ノ学校長ノ方針ヲ体シ、其ノ実践方法ヲ考ヘル、隅々マデ学校長ノ意向ガ行キ波ル様ニ工夫シタイ 3学校兵營化ナル精神ヲ進ミタイ田中、佐瀬面教諭ノ応召(陸海軍兵士として徴兵されること)モアリ学校ヲ兵營化シテ各担任ガ軍隊的ニ生徒ヲ指導シ体育陣ノ不足ヲ補ヒタイ」と述べている。これは連合国軍との戦争で日本の敗色が濃くなっている状況のなかで、政府・軍部がなりなり構わず、国民を戦争に「根こそぎ動員」をおこなうなかで学校も軍事化し兵營化していくことのアラわれであった。軍国主義的教育体制の末端に位置していた学校長のなりふり構わぬ発言として読むことができる。

この八月下旬に千葉県当局から中学校三年生も(一年を通じての工場労働や農作業など諸種の労働現場への労働力供給を強制的におこなわせる) 通年動員(それまで通年動員は四、五年生のみ)をおこなうことが通牒された。

第二学期、第三学期の職員会議の記録を読むと陸海軍の各学校への進学、勤労働員と戦争一色になっている。それらの記録は生徒を大事に教育するという観点から薄くなっている。たとえば十月五日(木)の職員会議で学校長は「一、(千葉県内中学校) 校長会ニ於ケル通年動員協議事項ノ報告(中略) ロ、勤労働員は動不能生徒ニ関スル件 カカル虚弱ナル生徒ハ官庁又ハ学校ニ於テ働カスコトヲ得 給任・助手トシテ(中略) ハ、勤労働員ノ健康管理ニ関スル件 監督職員ハ生徒ノ動作、顔色ナドニ依ツテ疲労ノ程度ヲ察知シ適宜善導スベシ」と職員に指示した。「カカル虚弱ナル」や「疲労ノ程度ヲ察知シ適宜善導」などという表現は労働力の供給源としての生徒をただ監督するだけという認識である。教育は荒廃の極みに達していた。

恩師探訪

船高旋風の3年間 高橋修

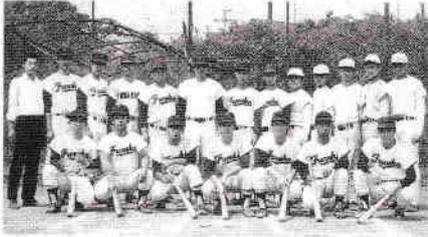


船高に赴任したのは昭和46年4月、私が24歳の時でした。それから12年間、野球部監督として采配を振ったことが、つい昨日のごとくのように思えてなりません。

千葉県は、昭和49年に銚子商業が、翌50年には習志野高校が全国連覇を成し遂げ、「野球王国千葉」の名を響き上げた時代でした。これに呼応するかのようには船高が昭和47、48、49年の夏の大会に、一船高旋風を巻き起こし、47、48年には2年連続でベスト8に進出し、この2校に挑んだこと、49年の活躍を含めて、当時を回顧すると今でも鮮明です。

1、Aシールド校を撃破してのベスト8

昭和47年夏の大会は、初戦君津を10安打の猛攻で、9対0と圧倒した。2回戦の多古を主戦高梨恒弘が2安打に抑え、6対0と2試合連続で完封した。3回戦Cシールド市立銚子との対戦では、2点を追って7回に1点を返し、8回に入野達夫のヒットで同点に追いつき、白井芳郎が逆転のスクイズを決めた。3対2の会心の勝利だった。



昭和47、48、49年の選手

(市立銚子)10安打、船高打、少ないチャンスを確実にものに守り勝つ、これ

3、3年連続ベスト8を遂す

昭和49年は甲子園代表校を本県のみで1代表を送ることが決定した記念すべき大会となった。(それまでは千葉・茨城県の東関東地区から1代表を送っていた。その開幕第一戦が船高対君津商で、初回、新井博之が中前打で先制し、3回に追加点を上げ、2対0で快勝した。この試合で平石一夫投手がノーヒット・ノーランの快挙を樹立した。記録と記憶に残る開幕戦だった。

2回戦は君津農林との対戦で、2点リードの9回、1点差に追い上げられたがよく振り切り、3対2と薄氷を踏む勝利を上げた。3回戦は、Aシールド校を破った東葛飾との対戦になった。中盤2点を先取されたが船高は7回、田中利孝の2ランスタイズで同点に追いつき9回、またもや田中の2塁打で決着点を上げ、逆転勝ちを収めた。4回戦は下総農業との対戦で、2対2の同点で迎えた延長10回裏、1死満塁で船高平石投手が押し出しの四球を与えサヨナラ負けを喫した。惜しくもベスト16に終わった。3年生が2名だけの若いチームだったがよく結束し、エース平石の頑張りが大健闘した。

2、引き分け再試合を制し連続ベスト8

昭和48年の夏の大会は2回戦からで、千葉敬愛を10対0の6回コールドで退けた。(主戦清水誠二が毎回の12三振奪取、ノーヒットに抑え、参考記録ながらノーヒット・ノーラン達成) 3回戦の相手はCシールド商大付。1点を追って8回に1年生の小柴光弘がフルカウントから三遊間に起死回生の逆転打を放った。9回にも追加点を上げ、4対1で辛勝した。迎えた4回戦は天羽との対戦になった。1対1のまま延長13回決着がつかず、大会特別規定により「再試合引き分け試合」となった。翌日の再試合は、1点を先行されたが4回、2年生新井博之が球運を呼ぶ逆転打を打ち、4対1で快勝し、2年連続ベスト8入りを決めた。準々決勝の5回戦は銚子商との対戦になった。これまで好投していた清水に連投の疲れが見え、銚子商打線に12安打に打ち込まれた。船高は銚子商2年生土屋投手(翌年全国制覇)に、森本健二の内野安打1本に押さえ込まれ、6対0で完敗した。し

4、誓い違か

ノーシールドからの船高旋風3年間を思い出すと、涙みなく溢れてきて尽きることはないが、高梨、清水、平石の好投手がそれぞれがの学年にいたこと(しかも)神田弘志(47、48年)、田中利孝(49年)の捕手の存在も大きく、徹底して守備を鍛え上げたことや、その練習に選手がよく耐えたこと、試合では持てる力を十二分に発揮して活躍してくれたことなどが、次から次と浮かび上がってきて、まさに監督冥利に尽きる3年間でした。一緒に汗と泥にまみれ、共に笑いに、共に泣いた当時の選手達を今でも誇りに思っています。そして、すばらしい選手達に恵まれ

かしながら主戦清水は銚子商打線と真つ向勝負をして、立派な投球だった。銚子商はこの後も勝ち進み、甲子園出場を果たした。



昭和49年 開幕戦に勝利し、船高校歌を聞きながら、勝利をかみしめていた

昭和49年夏の大会から、勝利校の校歌が流れることになり、本県初は、開幕第一戦に勝利した船高の校歌でした。天台の千葉県球場に校歌が流れたとき、勝利の味をかみしめながら、必ずや船高の校歌を甲子園に流す、と心に誓ったことを覚えている。誓いを果たせず船高を去りましたが、あれから40年近く経ちますが、あの時の誓いが、いつの日か必ずや現実となることを心から祈念しております。

私は、船高の後に新設の船橋豊富高校で13年間勤務し、監督、部長を務めました。次に船高定時制の教頭として2年間務めましたので、全、定でお世話になりました。その後、3校を経験して、県立柏高校長で定年を迎えました。現在は再任用4年目(今年度が最終勤務)になりますが、浦安南高校で保健体育の新規採用教員の指導に当たっております。



県立柏高校の退職祝い(平成20年5月)

まっている。遺伝子がコピーのし間違いを起こすんですけど、それとは別に、育つ過程で育成の過程で変わったやつが出来るってことがあふんです。こびこびとこびこびという言葉がありまして、「こびこび」飛び抜けて大きい、「こびこび」飛び抜けて小さい、いろいろの例えは、魚を養殖している人間にとっては大変困ったことになる。一言にそろえて同じサイズにしないと出荷しにくい、経済上に乗りくいわけですね。ところが魚の側からすれば、「そのこびこび」が出来ることによって全体としての生存価を上げてくれるわけですね。われわれはその養殖された魚ではないので、「そのこびこび」を排除するという教育はするべきではない。一定の水準に達するということが重要であるが、そこから抜けたということの特にとびの方を救ってやらないといけない。そのようにすることによって生存価が全般として上がっていくわけですね。われわれは商品ではない。人間は商品ではないんだから、マーケットに出すとか、養殖しているとは違う。「こびこび」を大事にしないといけない。そういうことだと思います。タイトルにある廿世紀ですが、これはあの松戸の松戸覚之進という人が、ある時ゴミ捨て場に梨の苗が育っているのを見て、普通だったらそんなものは目にも気にもとめない。絶対育てることなどしない。だって、ゴミ捨て場に生えてるんですよ。ところが、これはちよっと変だと言っているので、わざわざその苗をとってきて育てた。それが廿世紀という品種の始まりだったんです。だから教育者は、松戸覚之進みたいな何か変わっているやつ、普通だったら捨て去られるようなやつを見つけて、それをうまく伸ばしてやる、ということが非常に重要なんです。見落さずこぼれに見えるのがいたりするのを何とかしようというの、教育者というものの重要な使命だと思わなければ、自分自身もそういう目にあつたので、「こびこび」も大事にしつつ一定水準を高めていく、というのがこれからの教育で少なくとも私が必要だと思っております。考えてみれば私が教育者になったのもその辺が原因じゃないかなと思います。

千石先生のお話は記念式典に参加していた人たちの知的好奇心を呼び起こし、生徒たちには知識だけでなく感動や勇気を与えてくださいました。また、生徒からの多くの質問にも丁寧にお答えくださいました。千石先生は心より感謝申し上げます。

事業報告・事業計画と総会報告等

総会での議決事項等をご報告します。本年度の総会は、8月7日に母校会議室で行われ、平成22年度事業・決算の報告、平成23年度事業計画・予算の承認、役員改選等を行いました。

役員改選では、金子会長が再任され、副会長は天羽生氏、田辺氏、鶴岡氏が再任、子安氏が新たに加わり、監事は松永氏の後任に小川氏、再任の中野氏が選出され、任期は平成26年3月31日までとなります。なお、新理事も加わっておりますので、役員名簿を参照ください。

決算では、入会者と春の同窓会参加者が減少したことに加え、事業協助力金が大きく減少したため、収入が減少し、昨年同様、同窓会だよりを全委員に送付したこともあり、支出は前年と変わらず、翌年度への繰越に影響が出ております。

また、平成23年は同窓会だよりの発送を平成5年卒までの会員全員と平成6年以降の事業協助力金または創立90周年募金協力者に限定し(13,486通)、平成6年以降の会員にはハガキでの通知(6,165通)を行うこととなりますので、同窓会だより発送費を抑えてまいりますが、より安定した同窓会活動が行えますよう、事業協助力金を同窓会運営費と改め、お名前・金額を同窓会だよりに掲載する予定ですので趣旨的、ご協力ください。

なお、平成22年度から一般会計と特別会計をまとめて1つの会計処理となりましたのでご留意ください。

また、総会では創立90周年記念事業計画案も議題としましたので、総会で報告した事業計画を掲載いたしますが、その後も募金収入は伸び、現時点では同封のご芳名録にありますとおり、



90周年記念事業関連収支計画

Table with 2 columns: Item and Amount. Includes categories like '寄付金等集計結果' and '資金計画案' with specific sub-items and their corresponding monetary values.

1,401件10,019,000円が総額となります。今後、振込手数料を差引き、学校の収支も確定した時点で改めてご報告させていただきます。この他に、会則に關連して、会長等の任期、70才退任再検討が提起され、今後見直してまいります。

役員名簿

(※は新理事)

Table listing board members with columns for name, title, and birth year. Includes members like 三代川幹雄 and 小石 祝.

Table listing board members with columns for name, title, and birth year. Includes members like 高田 健 and 花澤 保夫.

Table listing board members with columns for name, title, and birth year. Includes members like 藤白 貴史 and 満留 修二.

Table listing administrative staff with columns for name, title, and birth year. Includes 島崎 喜一 and 高橋 健二.

Table listing administrative staff with columns for name, title, and birth year. Includes 渡邊 敏樹 and 久門 宏.

平成22年度決算及び平成23年度予算

1. 収入の部

Table showing income details with columns for category, 23 fiscal year budget, 22 fiscal year budget, 22 fiscal year actual, and 21 fiscal year actual. Includes '繰越金' and '会費'.

2. 支出の部

Table showing expenditure details with columns for category, 23 fiscal year budget, 22 fiscal year budget, 22 fiscal year actual, and 21 fiscal year actual. Includes '会議費' and '必要費'.

母校の現況

●全日制の部活動

- 運動系部活動の番号の区分
- ①22年度新人大会(県大会)
- ②23年度新人大会予選
- ③23年度県高校総体(県大会)
- ④その他

■運動系部活動

- 野球
 - ①秋季県大会 ベスト32
 - ②春季県大会 ベスト32
 - ③選手権大会県大会 ベスト32
- 陸上競技
 - ①男子八種競技 5位 吉野雅弘
 - ②男子三段跳び 6位 高橋佑助
 - ③女子棒高跳び 5位 市村瑠奈
 - ④千葉県選手権
 - 男子3000m SC 5位 伏木蒼太郎
 - 女子10000m 6位 湊瑛穂
 - 男子10000m 8位 湊瑛穂
- 水泳
 - ①水球 3位
 - ②水球県大会 3位(関東大会出場)
- 競泳
 - 男子1000m背泳ぎ 3位 石川和樹
 - 男子2000m背泳ぎ 5位 石川和樹
- サッカー
 - ①県大会 2回戦
 - ②県大会 1回戦
 - ③県大会 1回戦
 - ④高校選手権千葉県大会
 - 2次予選 1回戦
- 柔道
 - ②女子57kg級 ベスト8 中山理央
 - ③女子団体 ベスト16
 - ④女子73kg級 ベスト8 中山理央
- 剣道
 - ①男子団体 県大会2回戦
 - ②女子団体 県大会2回戦
 - ③男子団体 県大会1回戦
 - ④女子団体 県大会1回戦
- バスケットボール男子
 - ①県大会 1回戦
 - ②県大会 2回戦
 - ③県大会 3回戦
- バスケットボール女子
 - ①地区代表決定戦にて敗退
 - ②地区代表決定戦にて敗退
- バレーボール男子
 - ①県大会 1回戦
 - ②県大会 1回戦
 - ③県大会 2回戦
 - ④全日本高校選手権県代表決定戦
 - 1回戦(ベスト8)

バレーボール女子

- ①地区大会出場
- ②地区大会出場
- ③地区大会出場
- ④地区大会出場

- 男子団体 県大会2回戦
- 女子団体 県大会2回戦
- 男子S 1回戦 高橋直也
- 女子S 1回戦 長島亮太
- 男子5 1回戦 長島亮太
- 女子5 1回戦 長島亮太
- 男子個人ベスト16 福本・塚
- 女子個人ベスト16 福本・塚
- 男子個人準優勝 金沢・白井
- 女子個人準優勝 福本・塚
- 地区研修大会
 - 男子優勝 福本・塚
 - 女子優勝 金沢・白井

- 卓球
 - ①男子団体 県大会2回戦
 - 男子D 1回戦 七田・中里組
 - ②男子団体 県大会ベスト16
 - 個人D ベスト16 七田・中里組
 - ③男子団体 県大会ベスト16
 - 個人D 2回戦 七田・中里組
 - ④男子団体 県大会出場
 - 男子S ベスト8 森大樹
 - ②男子団体 県大会出場
 - ③男子D 森・鈴木組
 - 女子D 森大樹・菅原和子
 - 女子S 菅原和子 以上県大会出場
 - ④学年別県大会優勝 森大樹

- バドミントン
 - ①男子団体 県大会出場
 - 男子S ベスト8 森大樹
 - ②男子団体 県大会出場
 - ③男子D 森・鈴木組
 - 女子D 森大樹・菅原和子
 - 女子S 菅原和子 以上県大会出場
 - ④学年別県大会優勝 森大樹

- アーチェリー
 - ①男子団体 7位
 - ②男子団体 7位
 - ③男子団体 7位
 - ④男子団体 7位

- ダンス同好会
- 男子団体 4位(関東大会出場)
- 女子団体 4位(関東大会出場)

- 文化系部活動
- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

●定制制の部活動

- 千葉県高等学校校定通体体育大会
- 陸上競技
 - 男子1000m 1位 伊藤雄太
 - 男子走幅跳 1位 伊藤雄太
 - バスケットボール男子 優勝
 - サッカー 優勝
 - 剣道女子個人 優勝 諸岡ゆかり
 - 卓球男子個人 準優勝 藤原大成
 - ソフトテニス 優勝 重田・鈴木組
 - 男子個人 優勝 重田・鈴木組
 - バドミントン
 - 準優勝 木本冬威
 - 準優勝 本木・大西組

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会

- 全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
- 全国学校合奏コンクール千葉県大会金賞
- 県立船橋地区音楽会
- 東船橋駅クリスマスコンサート
- 県高文連将棋大会個人戦 4位 村杉英昭
- 関東高文連将棋大会出場 村杉英昭
- 県立総合文化祭将棋大会団体戦 3位
- 美術
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」(Work 1)開催
- 陶芸
 - 千葉県高校総合文化祭美術工芸作品展出品
 - 「たちはな祭」
- 書道
 - 第60回千葉県県中高席書大会
 - 書皇会会長賞 坂本侑紀
 - 千葉日報社賞 川上愛美 鮎川禮
 - 全国高等学校総合文化祭ふくしま総文作品出品 武藤なな
 - 遠藤晃太
- 生物
 - 日本生物学オリンピック2011 金メダル 相馬朱里
 - 国際生物学オリンピック2011 金メダル 大塚裕太
- 地学
 - 冬季合宿(鴨川市) 化石採集
 - 夏季合宿(長野県東御市) 鐵道研究
 - 「たちはな祭」にて鉄道模型の演習販売
 - 機関誌「All About」の発行(年4回)
 - クイズ研究会
 - 第31回全国高等学校クイズ選手権 全国大会出場
 - ジャズバンド
 - 文化祭・合唱祭参加
 - 茶道部
 - 「たちはな祭」にて茶会
 - 演劇部
 - 春季地区発表会
 - 主演女優・助演男優・新人・照明の各賞受賞
 - クランシックギター
 - 「たちはな祭」にて発表
 - その他
 - 放送委員会
 - 高文連放送コンテスト
 - アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - NHK杯全国放送コンテスト(千葉県大会) アナウンス部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドラマ部門 優秀賞 高橋優美
 - テレビドキュメント部門 最優秀賞
 - (全国大会に参加)
 - 図書委員会
 - 「たちはな祭」参加
 - 図書委員研修交流

- 「たちはな祭」にて発表
- 合唱
 - 千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
 - 千葉県合唱コンクール 金賞(県代表)
 - 関東合唱コンクール出場
 - 第32回定期演奏会
 - オーケストラ
 - 第35回定期演奏会



国際生物学オリンピック金メダル 3年 大塚裕太

楽しかった！BO (International Biology Olympiad) の感想はこれです。台湾に行く前からおもしろいことがたくさんありました。国内大会では日本中から高校生が集まります。船高は楽しい学校です。しかし他の高校には、もっとおもしろい人たちがいました。新鮮だからおもしろいという面もあるとは思いますが、合宿で、しゃべったり、いっしょに遊んだり、勉強したり。国内大会上位の人には「わが道を行く」ような人「努力する」人「多い気がしました。また、偏差値表トップの高校にはやはり、とても頭の切れる人、もいます。ホントに会えてよかったです。台湾では、国際大会ならではの雰囲気を楽しみました。まず、着いた日は、トランプをしました。台湾のスタッフさんに「抽鬼」を教えてください、ポーランド代表も一緒にやってみることにします。ルールを説明してもらうとなんと日本の「はば抜き」と同じです。

たしかに、はば抜きは、海外代表の積極性は、驚かされました。アジア人は、よくわからないトランプゲームをしているところに、ポーランドでははば抜きのようなゲームを見たことがないそうです。一人で挨拶しに来ていっしょにやってくれる。すごい、と思いました。

こうしてオリンピックが始まり、8日間ずっとこのような感じで過ごしました。台湾らしさを楽しみながら、海外の人と遊んで、という感じです。Culture Nightは、韓国・ブラジル代表と一緒にすごく楽しかったのですが、箸で豆を移すコーナーなどが来るたびに、「You are Japanese.」と言われる、僕がやることに。しかし、どのゲームでも日本人らしさを発揮できず。でも、どのゲームも「高校生ノリ」でとても盛り上がりました。すっごくのまま高校生でいられたらいいのに・・・と最近よく思います。



おたより彼れ是れ

●井上 昇 (昭和40年卒)

私の時の校歌は歴史は浅くてもどろどろその名だつた卒業の時が45周年でそれから45年もたつたんですね。創立90周年おめでとう御座います。

●中野 良枝 (昭和62年卒)

縁あって母校の近くに転居してきました。今頃は所用により出席できませんが、今後は近くゆえ、何かとお手伝いもさせてもらえようと思ひます。宜しくお願ひ致します。

●渡邊 啓貴 (昭和47年卒)

2008年4月、2010年3月、大学からの出向で在任日本大使館広報文化公使の任にありました。帰国後はIT職場に戻っておりますが、外務省発行の雑誌『外交』の責任者もやっております。卒業生が一人でも多く海外で活躍されるよう祈念申し上げます。

●久保 和秀 (昭和43年卒)

剣道部員です。大学でも続けて、教員になつてからもずっと剣道で生徒と竹刀を交えてきました。現在の船高剣道部の皆さんとも竹刀を交えてみたいと思ひます。

●鈴木 真理子 (旧姓島津) (昭和49年卒)

同期の山田さんが教師として母校に赴任なさり、現在の船高の様子を書かれていらつしやる記事を読み、高校当時の出来事や校舎を懐かしく思い出しました。定年まで5年となった私が教職を続けたいられるのも高校で出会つた本のおかげです。

●澤 三千 (旧姓近藤) (昭和37年卒)

10才になったお母に会いに年3回程上京していますが、その折は必ず母校の側を通り、後輩連を孫のような気持で見えています。50年の歳月を感じます。

●同窓会だより第23号の野田財務大臣の記事、面白かつたので政治家になつた後の事も読みたいですね。

●漆原 裕子 (旧姓鎌倉) (昭和50年卒)

卓球部の先輩の投稿懐かしく拝見しました。随分前に取り壊されたが、崩れ落ちたその旧体育館(卓球部専用)で、夏・冬季節を感懐ながらの楽しい思い出です。最近の船高生は全国区で活躍してくれてとてもたのしみしく、嬉しく感じます。

●小林 みさ子 (旧姓神野) (昭和37年卒)

卒業して約半世紀、がんばつた時代がなつかしく思われます。70を過ぎましたが助産師として今も自分なりに頑張つています。同窓会の発展心への祈りをお寄せ下さい。

●宮川 康子 (旧姓本間) (昭和40年卒)

生物部OB会同期が選挙を迎えた折に始めた旅行が続いています。1月の末に、山寺、塩釜を廻ります。ずーっと還暦のまますで。

●石黒 正大 (平成15年卒)

毎年夏が来るに、船高野球部の結果が気になります。いつか甲子園に出られたら、と願ひ、船高野球部OB会の活動に微力ながら参加しております。

●瀬戸 由紀 (旧姓木村) (昭和60年卒)

今夏、卒業以来25年ぶりに船高を訪ねる機会がありました。京成船橋競馬場からの道、曲がり角の駄菓子屋(?)が気になっていましたが、迷つたことなかりつげました。校舎内部も少し古めかしい雰囲気階段やわたりのうろかなど懐かしささいっぱいでした。

●豊田 紀子 (旧姓豊田) (昭和35年卒)

事務局の皆様いつもありがとうございます。感謝しています。クラス会も二十数年ありますが、部に入つてからお陸上部の新年会・総会には参加先輩・後輩と交えるのはとても楽しみです。これから何回出席できることや、健康・仕事にがんばつていきます。

●関口 知美 (平成6年卒)

創立90周年を迎えた伝統ある船高の卒業生として、とても誇らしい気持ちです。現在、銀行員の傍らへ金融分野のライターもしておりますが、船高の卒業生だと言つて、初対面の方にもぐに好印象を持って頂けて、とても得をしています。「同窓会だより」で母校に想いを寄せて下さるサトウハチロー先生作詞の校歌を口ずさむ毎日です。

●松本 晃徳 (昭和52年卒)

現在ニュージブラントの首都ウエリントン市の大学で教鞭をとっています。家族も全部ウエリントン市に在住です。同窓会報は現在地より送付致します。よろしく、皆々様にもお返し。

●近藤 久夫 (昭和29年卒)

部屋の整理をしていたら古いアルバムが出てきました。高校時代のものもあり、懐かしさの余り開いて見ると、校歌作成のイメージ作りのため山田耕輝、サトウハチロー先生が采られた折の写真が含まれていました。当時の校長は山口久太先生で、その姿も写っていた。昭和26年初夏の頃だったと記憶しています。

●安齋 恭子 (旧姓佐部) (昭和33年卒)

S33年卒、3年下組は主任に1度クラス会を開いて居ります。年々参加者も増え、担任だった棟方先生も健在で旧交をあためて話ります。同窓会の幹事さんはいくつも大変です。

●中川 享子 (旧姓吉岡) (昭和58年卒)

陸上部のOB会に出席させていただきました。

お元気で活躍されている大先輩方、若々しい後輩の皆さん、とあらためて「伝統校」を実感いたしました。また、小川先生をはじめ、なつかしい方々とお会いでき、楽しくすごさせていただけました。

●高橋 洋子 (旧姓額賀) (昭和49年卒)

同窓会だより第23号巻頭に寄稿された山田先生とは同窓でした。拝見して在籍当時がよみがえりました。各料の研究室に用があるときは緊張して入室したものです。パネル展示を巡る対立も、先生と生徒が真剣に討議し、押さえつけられたことはなかつたと思ひます。卒業式に生徒の希望を仰げば尊しを歌つたことが当時の先生と生徒の関係だったなと思ひます。

●小井土 清 (昭和25年卒)

卒業してから60余年、私も傘壽を迎える年齢になり、苦しくとも楽しく生きてきた戦中、戦後の中高校時代を懐かしく思い出している昨今です。敢る校、残る校も、敢る校(良意)送り、送られは人の世の定めとは言え、幾多の学友を昨年も送りました。これからも「一日一日を愛しみながら歳を重ねて行きたい」ものです。

●千田 宏一 (昭和35年卒)

同窓会だよりの記事にて、亡父の勤務して居りました手業工作所を拝読し大変なつかしく思い出されました。

●藤本 雅彦 (昭和49年卒)

2001年1月4日朝日新聞朝刊一面に、船高の生物部の記事が載っていました。母校からこの様な優秀な人材がどんどん輩出される事は、卒業生として大変誇らしく思ひます。初のノーベル賞も間近です。

●藤本 信義 (昭和37年卒)

バレーボール部OB・OG会の会長に、昨年7月月の総会で承認され、小川寿二郎氏(34年卒)の後継として就任しました。

●早川 宏 (昭和26年卒)

夏の甲子園千葉県大会の応援に毎年行き母校の校歌を一緒に歌う喜びを感じています。又、須田先生を交えて同期会を毎年1回出席しております。

●奥永 俊哉 (昭和58年卒)

新橋駅近辺に有無酒蔵という居酒屋があり、同窓会サイトへ高校関係者が自由に近況を寄せ書きできます。先日29年振りに陸上部の方のお名前を見かけました。全国で船高関係者の輪が広がっている事を、大変嬉しく思つた次第です。

●平井 瑞美子 (旧姓今村) (昭和34年卒)

奈良園の近くに住んで、30年以上にわたります。毎日1方歩ウォーキング・奈良に「オウキ」ングに適した所が沢山有り、元気に楽しく過ごしています。

●杉崎 嘉代子 (旧姓斎藤) (昭和38年卒)

高2の担任(三橋先生)に連れて行つて頂いた大菩薩峠で山に懸かると、若い頃は職場の山岳部の方達と、今は、主人や地元山友会の方達と山行を楽しんでいます。

●加納 津一 (昭和33年卒)

老化防止の為、毎日ピアノと歌のレッスンを励んでおります。毎日が非常に充実しています。♪♪は60才より、歌は65才より始めました。

●平井 由喜子 (旧姓小川) (昭和40年卒)

「同窓会だより23号」になつかしいお名前を見つきました。S37年卒の片桐飯田順子さんです。卒業後に知り合った素敵な先輩でした。年賀状のやりとりも時々送つて早や何十年(???)。お会いしたいなあ。

●中島 喜寿 (昭和30年卒)

後期高齢者になりますが、さすがに元気に梨づくりをしております。目下剪定作業を連日行つて居ります。

●大隈 加代 (昭和42年卒)

いつもお世話になっております。ありがとうございます。時の経つのは早いものづくづく感じる昨今です。船橋駅からバスに乗って(長い行列をつくり)通つたことが思い出されます。駅周辺も変わり果てた船高が近くなつてよかったです。

●篠塚 潔 (昭和40年卒)

13年卒の同期会、毎年6月に行つて居ります。

●浜田 美知子 (平成20年卒)

定時制だけの、先生も交え同窓会を企画して頂きた。

●大森 道子 (旧姓星野) (昭和38年卒)

全国高校生クイズ大会活躍された後輩の方々に、拍手を送りたいと思ひます。

●山口 忠久 (旧姓平野) (昭和20年卒)

毎回の配本ご苦労様です。20年の卒業なので写真を見て実感は薄いですが、5年前から膝・腰痛が出て病院通いです。今後の発展をお祈りします。

●鈴木 仁 (昭和27年卒)

昨年(H22)9月26日昭和27年卒業の同窓会が船橋東船橋本店にて開催されました。篠田・三谷君等幹事の大努力にて約70人が参加、道本先生も高脚を押し御出席頂きました。平均77才の参加者で88年以上前の船高の若き日の想い出に浸り、母校の大発展を喜び合いました。これだけで同窓会最後と云う事です。

●伊藤 鷹 (昭和28年卒)

臺灣クラス会を開く
東日本震災と原爆事故により一ヶ月遅れで6月22日九十九里一宮館で開催する。13名が参加。恩師高瀬春雄先生は記念の色紙を銘々に手渡して下さい。大感謝。13年の恩師米寿の祝いに再び集うことを約し盛年のうちに解散。

●島崎 喜 (昭和48年卒)

平成24年は学年閉鎖の年。10月6日に開催しますので、是非とも参加ください。い(詳細後日)

平成23年11月19日には年下組、2年H組、1年G組、バレーボール部を中心に「佐藤豊先生を囲む会」を開催しました。2回目となりましたが、楽しい時間でした。

学年理事登録を

引き続き、昭和56年以降の学年理事の方からのご連絡をお待ちしております。学年会を開いていれば、代表の方、なければ卒業時の生徒会長の方等々、「代表」を選出頂き、住所、氏名、電話番号等を事務局へお届けください。連絡はメールにて島崎喜一(同窓会事務局、48年卒)まで。

編集後記

「くーっ！教師生活一十五年！こんなにも悔しいことはない！」：昔のマンガ「ど根性ガエル」で、主人公のひろ少年にいつもおちよくられていた町田先生の決めセリフです。まさか自分が教員となつて、なおかつ母校たる船高で「教師生活一十五年！」の節目を迎えようとは思ひませんでした。

昔日と比べて驚くほどに素直で気持ちの優しい今日の船高生と接していると、嬉しい反面で何やら少々心配にもなります。「ど根性」もはや死語なのかも知れませんが、平面ガエルのピョン吉やひろ少年の如き計算めきの波太いメンタリティが今少しあれば、などと、ふと思う今日この頃です。同窓会の皆様には、九十周年を経えます盛んな後輩生徒諸活動への変わりぬご声援をお願いする次第です。(N)